

医療機器部品の受託生産拡大に向けた 取組みのお知らせ

当社は、医療・精密機器セグメント内の「医療機器部品」の比重を高めることを目的として、国内生産能力の増強を進めております。

昨年度に、国内の受託生産体制の構築に必須となる、専用のクリーンルームを稲沢事業所内に建設し、本年1月より同クリーンルームにおいて、医療機器部品の量産稼働を開始いたしました。

おかげさまで、このような受託生産体制の整備状況をお客様からご評価いただき、新規案件の引合いの数も増加しております。

今後も生産能力の更なる増強を図り、「医療機器部品のOEMメーカーとして発展する」という事業ビジョンの実現と国内外医療への貢献に努めてまいります。

